

みなさん、こんにちは山根亜希子です。

ドル／円は昨年12月に入ってから、やや上昇していますが、今回は、私なりの中長期の観点からドルの動きについて考えてみたいと思います。

<ドル／円の長期の動き>

円高最終局面到来か？



(チャート：ドリームバイザードットコム)

まずはドル／円の20年チャートを見てください。

今の値段より円高になったのは95年の79円をつけた年だけというのがわかります。

来年、79円を目指す動きが出る可能性は否定できません。

しかし、どこかの時点で円安に反転したら大きなチャンスにもなります。

ドル／円は日本株などにも影響を与えるので、長期での転換期にも投資家は目を光らせています。

次にもう少し詳しく見てみましょう。

ドル／円週足



(チャート：ドリームバイザードットコム)

ドル／円レートは上下に引かれた右肩下がりの中を緩やかに下落しています。中長期での円高トレンドはまだ継続していると言えます。

この平行線を上方方向にブレイクする時が円高が終わったサインにもなります。

09年末時点では抵抗線が95円付近にあります。

ここを明確に超えることができない限り、80円方向にじわじわと下がっていくリスクが高いということです。

サイクル理論から見ると、現在の円高はサブプライム・ショックが起こる少し前の07年6月の124円を起点に現在も継続中です。

しかし、すでに2年半が経過しました。

前回の円安は05年1月から07年6月までの2年半で終わりました。
その前の円高は02年2月から05年1月までの3年でした。

そろそろ円高が終わっても時期的にはおかしくない時間帯に入ってきているのです。
来年、円高が終了する可能性は十分あるわけです。

その時は長期での外貨の買い時になる可能性が高く、来年もますます為替マーケットから目が離せません。

短期の変動も大事ですが、たまにはもっと大きな視点でマネーの流れをつかむことも重要です。

米国の経済状況もまだまだ不安ですがここにきてユーロ圏の不安も出てきました。

欧州のどこかの国がデフォルト（債務不履行）とか格下げになる国が相次ぐとなればユーロが売られてドルが買われやすくなります。

その時はもちろん円も買われるのでドル／円レートの動きを予想するのは難しいですが
中長期での円高終了は95円を超えることがまずは第一条件だと考えたらわかりやすいと思います。

以上、ご参考にしていただければ幸いです。

山根亜希子